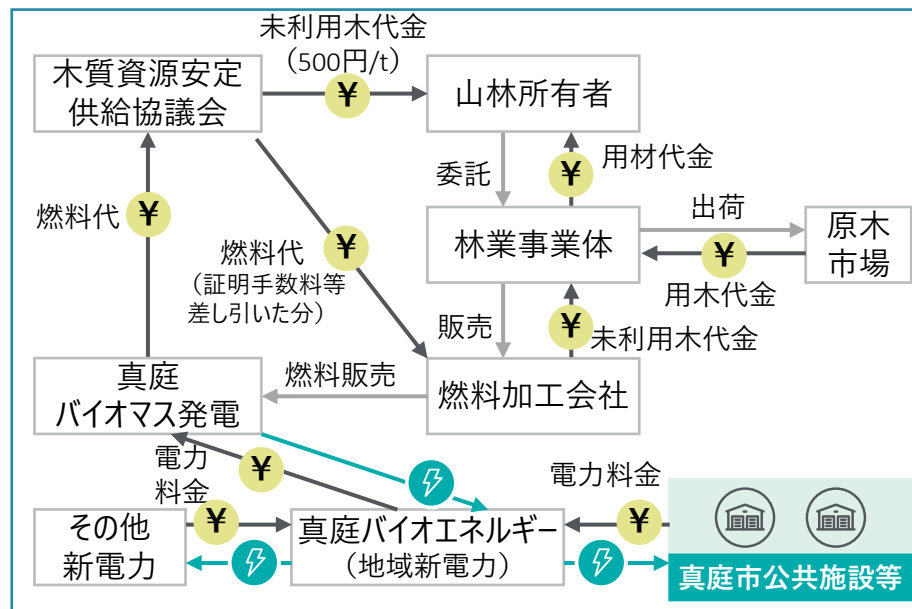


# これまで未利用・産廃処理されていた地域の森林資源を活用した バイオマス発電を通じて、エネルギーと経済の地域循環を実現

## 事例概要

<b>事業者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>真庭バイオマス発電株式会社 (銘建工業株式会社、真庭市、真庭木材事業協同組合など10団体で構成)</li> </ul>
<b>地域課題</b>	地域資源の有効活用
<b>事業概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2015年4月から発電出力約1万kWの「真庭バイオマス発電所」を稼働</li> <li>発電した電力は、地元の新電力「真庭バイオエネルギー」をはじめとした新電力にFITで売電しており、真庭バイオエネルギーはその電力を公共施設等に供給</li> <li>これまで山林に放置されていた枝葉や、有償処分されていた製材所から出る端材・樹皮といった未利用材を含めて燃料とし、発電に活用することで、林業の活性化とエネルギー・経済の循環を実現</li> </ul>
<b>実施状況</b> (2022年12月現在)	事業化済み (2015年4月開始)
<b>補助事業の利用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備加速化・林業再生事業 (農林水産省)</li> <li>産業団地立地補助 (岡山県)</li> </ul>
<b>CO2削減効果</b>	—

## 事業スキーム・体制



間伐材を燃料用チップに破砕



真庭バイオマス発電所